



よいしょ! よいしょ! (上豊田保育所)

## 9月定例会

- 2p 19年度決算認定
- 6p 議員提案で政治倫理条例を制定
- 7p PCBの持ち込みは絶対反対
- 8p 「安定した水の確保」など — 7人が一般質問
- 15p 福祉厚生・議会広報委員会視察報告
- 16p まちづくりに一言 — 福祉の受け手から社会の担い手へ

議会だより 京丹波 第14号 発行日 平成20年10月17日

発行/京都府京丹波町議会  
〒822-0292 京都府船井郡京丹波町蒲生八ツ谷2番地6  
TEL. 0771-82-3805 FAX. 0771-82-2816

E-mail: gikai30@town.kyotamba.kyoto.jp  
URL: http://www.town.kyotamba.kyoto.jp/gikai/

## まちづくりに一言

### 福祉の受け手から 社会の担い手へ



(社)京丹波町シルバー人材センター  
理事長 湊 傳太郎

年培ってきた知識・経験、技能を活かして地域で活動することにより、積極的な事業の推進に努めてまいります。

団塊世代の60歳への到達がいよいよ本格化してまいりました。

超高齢者社会を迎えるに当たり、「福祉の受け手から社会の担い手へ」というセンターの活動理念は、多様な高齢者を活かし、守るといふ二つの視点から町の高齢者福祉の向上と自立のため、活力あるシルバー人材センターとして京丹波町の発展に貢献していきたいと会員一同頑張っております。

## 議会の傍聴にお越しください!

次回の議会日程は下記のとおりです。

### 12月定例会

12月8日(月)  
午前9時から

傍聴の手続きは簡単ですので、皆さんお気軽に傍聴にお越しください。(受付簿に住所・氏名を記入するだけです)

一般質問や委員会日程などの詳しい内容は11月下旬の議会運営委員会で決定されます。

お問い合わせ

議会事務局 TEL 82-3805  
FAX 82-2816

### 編集後記

私たち、議会広報委員会は「議会だより」を通して、町民のみならずが議会に親しみを感じていただければと、自らの手で発行しております。

本年8月の広報研修会では講師の先生より、京都府下市町村の議会だよりで優秀であると高い評価をいただき、記念品の贈呈を受けました。

今後とも議会の様子を「ありのままた」「わかりやすく」、お伝えするため委員全員頑張っております。(Y・I)



記念品を囲んで



# 着実な予算執行で財政健全化に見通し

人件費3,447万円減額 借金返済比率 20.3% 経常収支比率は92.6%



協働のまちづくりへ（職員研修）

**問** 19年度は特に安心・安全なまちづくりということで、協働のまちづくりを前面に出されてきたが、具体的に町長としては、協働のまちづくりをどのようイメージされているのか。

**町長** 少子高齢化の中で、さらに人口減少の推測がされているが、そうした予測が外れるようにもっていきたい。旧小学校単位ぐらいの規模で、どういう問題があるのか、今何を解決しなければならぬ

## 協働のまちづくりは職員研修で意識改革

かを、十分話し合っていたら良かった。職員一人一人が地域に入り、意識改革していく。

## 山陰本線園部以北複線化は未定

**問** 山陰本線京都園部間複線化工事は、今年度中に完成すると聞いているが、引き続き園部以北の複線化も求めているのか。

**課長** 園部以北の部分についても、町としては、複線化は将来を見越した中で、重要だという認識をもっている。これからの協議の中で決定されていくが、現時点では未定である。

## 瑞穂大納言の種採取は技術者会で協議

**問** 黒大豆や小豆の品種で、瑞穂大納言の特徴が失われてきて、粒が小さくなってきてい

**反対討論** 山田 均議員  
旧町からの継続事業を中心に、財政難と町域の均衡を旗印に、保育所統合や、病院運営の見直しを進めてきた。この方向は、住民が求める安心して暮らせるまちづくりの方向ではない。

重点施策としたダム事業は、大きな負担が町民に転嫁される事業であり、見直し中止を

## 討論

**賛成討論** 小田耕治議員  
歳出を抑制して、地方債を償還しており、本町の厳しい財政状況、将来負担を考えると、やむを得ない予算執行であったと判断する。

自治振興補助金に849万円、瑞穂・和知支所に2億3700万円を執行するなど、地域の要望に応えるとともに、合併特例債を活用した振興基金に1億6217万円を積み立てるなど、将来に備える執行である。

総合計画に基づいたまちづくりが進められることを期待し、賛成する。

## 平成19年度一般会計決算収支・貯金・借金

収入	支出	差引額
94億552万円	92億9,584万円	1億968万円
貯金(基金)	借金(町債)	借金(土地公社)
24億644万円	167億4,489万円	23億1,502万円

## 19年度町税収納額・不能欠損額・滞納額及び収納率

(単位:円)

税目	区分	収納額	不能欠損額	収入未済滞納額	収納率(%)
町民税(個人)	現年分	543,631,241	0	16,180,159	97.11
	滞納分	6,481,422	18,700	26,579,491	19.59
町民税(法人)	現年分	107,275,100	0	1,612,600	98.52
	滞納分	510,600	0	2,126,300	19.36
固定資産税	現年分	955,292,174	10,216	41,866,110	95.80
	滞納分	15,372,672	3,825,800	182,096,790	7.64
軽自動車税	現年分	43,412,300	0	1,573,000	96.50
	滞納分	631,300	0	3,911,610	13.90
その他	現年分	107,574,103	0	0	100.00
合計		1,780,180,912	3,854,716	275,946,060	86.42

20年第3回定例会は、9月9日から26日までの18日間開催されました。

本定例会には、19年度一般会計・特別会計決算、条例の制定・改正、補正予算、意見書など、40議案が提案され全議案を可決・認定しました。

一般質問には7人の議員が立ち、24項目について執行部の所見を求めました。

## 一般会計決算

本定例会に「一般会計歳入歳出決算の認定」議案が提出され、質疑・討論・採決の結果認定しました。

「賛成11 反対2」

## 主な質疑・討論

## 町税の滞納処分 不動産など21件差押

**問** 滞納処分で差押た不動産18件は、土地建物どちらなのか。

**課長** 19年度では、21件2704万円差押した。不動産はすべて土地。参加差押と交付要求は、10件で579万円。

**問** 土地の差押以外に、預貯金や給料の差押も含め税をしっかりと支払っていただくことと、支払いやすい方法を提案することが大切でないか。

**課長** 厳しい処分では、公平性の原則を確保するのは、当然必要である。20年度からは、預貯金や給料の差押を見据えた照会もしている。

**問** 昭和55年の固定資産税から残っているが、分類し債権を整理して、処置できないか。

**課長** すべて差押して、債権の保全を図っている。



# 特別会計決算

19年度の京丹波町特別会計などの決算認定議案が提案され、質疑・討論・採決の結果、15議案とも認定されました。

## 特別会計決算

(単位:千円)

主な特別会計	収入額	支出額	採決結果
国民健康保険事業	1,868,961	1,866,561	賛成11、反対2
介護保険事業	1,602,757	1,573,298	全員賛成
水道事業	1,629,864	1,605,715	賛成11、反対2
下水道事業	1,077,840	1,077,755	賛成11、反対2
育英資金給付事業	1,567	1,564	全員賛成
町営バス運行事業	98,104	97,717	全員賛成
国保瑞穂病院事業	756,196	810,105	全員賛成

## 主な質疑・討論

### 国民健康保険事業

**問** 資格証明書と短期証の発行件数は、

**課長** 3月末で、資格証明書81世帯、短期証は77世帯である。

**問** 国保条例による減免や徴収猶予はされているのか。

**課長** 国保条例や施行規則に照らして対応している。

**問** 所得が200万円以下の所得の割合は、収納率低下による国からのペナルティは何%か。

**課長** 所得が200万円以下の世帯は88.3%である。収納率が93%未満では調整交付金が5%減額される。

## 討論

**反対討論** 東まさ子議員

国保証の取り上げや資格証明書の発行はやるべきである。国保税を払えない人には減免制度の利用など考慮すべきだ。

## 賛成討論

山内武夫議員

低所得世帯が88%を占めており、基金から1億1千万円を繰入れ保険料軽減に努めている。生活実態に配慮し、収納率の向上に努力された。

## 介護保険事業

**問** 施設入所の待機者数は、

**課長** 重複しているが入所待機者数は170人である。

## 討論

**反対討論** 山田均議員

開発団地での人口6千人増加についての納得できる説明がない。ダムありきでなく、人口や実態に合った見直しをすべきだ。

**問** 基金積立が多額になっているが、当初から積立を想定していたのか。

**課長** 調整交付金が想定より多くなったため、当初から想定はしていない。

## 水道事業

**問** 損害賠償の弁護士委託料の内容は、

**課長** 裁判費用にかか

**賛成討論** 横山勲議員

積極的に統合整備事業が進められ、丹波・瑞穂地域は79%、和知地域は65%の進捗率である。今後、未収金の解消に向けた努力と、使用料の早期統一を求

## 下水道事業

**問** 使用料未納者が多い。未接続でも使用料の半額を払っている人からすれば不公平ではないか。

**町長** 未接続の半額徴収は本年4月から廃止した。未収金対策は公正、公平にしていく。

**課長** 実績などを検証し、改善できるところは検討していきたい。

## 討論

**反対討論** 山田均議員

19年度では下水道の未接続家庭からの使用料金を徴収してきた。使わないのに徴収するやり方は中止すべきである。

**賛成討論** 篠塚信太郎議員

下山浄化センターの建設施工が推進され、合併浄化槽整備事業では整備率が59.6%に向上した。また施設の維持管理と経費削減も図られている。

## 町営バス事業

**問** 嘱託と臨時の職員数は何人か。

**課長** 嘱託職員は、昨年より1人減の7人で、臨時職員は3人増の6

## 瑞穂病院事業

**問** 21年度から多額の借入金返済が始まるが、財政見通しはどのようになっているのか。

**課長** 経営健全化計画を策定し、当面5年間の収支計画に基づき運営している。

**問** 固定資産の減価償却費の積立処理はできているのか。

**課長** 耐用年数に応じて100%償却し、内部留保資金として処理している。

## 監査報告

19年度決算は、「地方債の繰上償還」「人件費の減額・抑制」という基本的な考え方に沿って着実に予算執行がなされた。

町税をはじめとする徴収にはなかなか改善がみられないが、督促や戸別訪問などに努力され、今後とも公正厳正な徴収に粘り強く取り組まれない。

予算執行は、財源を住民の暮らしにいか還元していくかということに尽きますが、多岐にわたる事業が展開されています。その多くは国・府の施策に準拠したものであり、財源も交付税や各種交付金、支出金によって手当てされているものばかりであります。

地方分権とは名ばかりで、町の独自性を発揮しようにも財源確保の先行きは不透明であります。今後地方の再生、活性化を図るためには住民の皆さんの理解と意識改革をしなければならぬ時がきていると考えます。

監査委員 人見 亮  
監査委員 室田隆一郎

# 各議員の賛否

平成20年9月定例会

諮問2、議案16、認定16、発委5、請願1の審議結果です。賛否の分かれた議案のみの表示です。ほかの議案は全会一致で賛成しました。

審議結果	議員名	議員名																
		藤田 正夫	坂本美智代	山内 武夫	畠中 勉	今西 孝司	東まさ子	小田 耕治	横山 勲	西山 和樹	山田 均	室田隆一郎	篠塚信太郎	吉田 忍	野口 久之	野間 和幸	岡本勇 議長	
可	病院等使用料の条例改正	欠	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
可	平成19年度一般会計決算	欠	欠	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
可	平成19年度国保会計決算	欠	欠	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
可	平成19年度水道会計決算	欠	欠	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
可	平成19年度下水道会計決算	欠	欠	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

議長は採決に加わらない。○は賛成、×は反対、欠は欠席



**人権擁護委員候補者の推薦**

谷 碩子(質美) 再任  
和久田正八(長瀬) 新任  
(全員賛成)

**条例の制定・改正**

政治倫理条例ほか6条例の制定・改正案が提案され、全議案を可決。

**議員提案で政治倫理条例を制定**

昨年の不祥事の教訓から、議員においてもさらに町民の全体の奉仕者として法令を遵守し、町民に信頼される議会づくりを進め、町政の健全な発展に寄与することを目的とする

条例を制定。(全員賛成)

**使用料を統一**

病院・診療所の訪問診察・訪問看護を受ける際の自動車使用料が交通費として町内520円、町外1050円に統一する条例改正。

10月1日から施行しているが、周知期間が必要ではないか。また、影響を受ける対象者は何人か。

以前からの検討課題であり、今回提案した。対象者は16人で、3人が影響を受ける。対象者には、十分な説明をし、理解を得たい。(賛成11 反対3)

**課長**

暴力団員は入れない

**暴力団員は入れない**

公営住宅入居者等の生活の安全と平穩の確保のため、町営住宅に暴力団員を入居させない条例の改正。(全員賛成)

**補正予算**



升谷で使われるサルの追い払い機

1億9090万円を増額する一般会計ほか9件の特別会計の補正予算が提案され、全議案を可決した。

**主君質疑(一般会計)**

普通交付税が43億1000万円と確定したが前年度と比べてどうか。

公債費分約5300万円と地方再生対策

費をあわせて、2億2000万円余りの増額となっている。

学校施設の耐震化はすべての校舎を考えているのか。

今回の補正で、桧山、明俊、質美小学校の校舎6棟、質美小の体育館の耐震診断を行う。法の整備で診断のみでも補助金が出るようになった。

有害鳥獣対策備品購入費は何か。

サルの追い払い機25機及び、玉の購入費で和知升谷地域で実施する機器である。

効果について、また貸し出しはどうか。

舞鶴地域で使用されている。効果の検証を含め見守りたい。貸し出しの方向で考えるが、玉は受益者で負担して欲しい。

中央公民館前の築山の撤去は、これまでの歴史もあり、一朝一夕につぶしてよいのか。

バスの回転に支障があり、一部撤去する。記念植樹など経緯もあり、一部移植することも検討したい。

住民基本台帳システム改修の内容は。

来年、5月21日から裁判員制度が実施される。本町で36人の裁判員候補者を選ぶこ

となり、予定名簿を作成するため改修する。

災害時の要援護者台帳の説明を。

一人暮らしの高齢者と障害のある方2136人について、本人の同意を得て登録台帳をつくる。(全員賛成)

**要望書4件を受付**

新たな過疎対策法の制定に関する要望書  
全国過疎地域自立促進連盟

町道藤ノ瀬大郷線拡張改良を求める要望書  
白土区・知野辺区・北久保区

農業諸資材の高騰対策に関する要望書

京丹波町農業委員会  
地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備・財政措置を政府等に求める要望書  
京都弁護士会

**地方道路整備の促進と財源の確保に関する意見書**

高齢化が進む中で、町民の生活環境や緊急時における安心安全の確保が重要課題である。こうした地方の実情を深く認識され、次の事項を強く要望する。

- (1) 地方に必要な道路整備を遅らせることがないよう、必要な財源を確保し、地方への配分を高めること。
- (2) 地方の自主性・裁量性を生かし、補助制度を確立すること。
- (3) 道路財源暫定税率の失効に伴う地方税収の減収分は、国の責任において確実な財源措置を講じること。(全員賛成)

**請願審査結果**

食の安全と食料自給率向上を求める請願趣旨採択 (全員賛成)

**意見書の提出**

**新たな過疎対策法の制定に関する意見書**

過疎地域が、安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、国民全体の安心・安全な生活に寄与するものである。引き続き総合的な過疎対策を充実強化させること



PCB持込反対 決起集会 (豊田地内)

**討論**

**賛成討論 篠塚信太郎議員**

PCBは、人体に対する毒性が高く発がん性がある。本町へのPCB廃棄物・汚染土壌の持込を断固阻止するために必要不可欠であるとして賛成する。

**賛成討論 横山 勲議員**

国の措置法は、単に知事への保管場所の届出をすればよいだけの法律。この矛盾を指摘し、正し、本町が町民運動として、汚染廃棄物を持ち込ませない宣言をするため賛成する。

**賛成討論 山田 均議員**

PCB廃棄物の持ち込みは、絶対認めない姿勢が基本で、その姿勢を示すことが大事だ。町民と力を合わせる必要で賛成する。

**請負契約**

**CATV工事を着手**

瑞穂情報センターとサブセンターとなる丹波・和知の基盤整備や丹波・和知地内に光ケーブル173kmを張り巡らせるもの。契約金額 3億2214万円 契約相手方 西日本電信電話株 (賛成11 反対3)



町民の安心して暮らせる生活環境を守るためPCB廃棄物等の町内への持込を禁止する条例制定。(全員賛成)

**臨時議会**  
8月25日と29日の両日、臨時議会を開催し、次の2件を可決した。





今西孝司 議員

# 西部6区を混乱させるだけに終わったのでは

強行に進めるつもりはなかった 町長

## 旧和知第2小学校周辺の観光開発を

**町長** 検討委員会を立ち上げ協議していただく。管理はボランティアとして対応したいと提案いただいている。

**問** 旧浅田農産跡地へのリサイクル企業誘致は、地元の反対で断念された。今後の対応はどうか。



天足さんの大榎（大迫地内）

**問** 校庭には大銀杏がそびえ、上和知川周辺には旧道の廃道が残されている。大迫の天足さんにも大榎がそびえ、自然を生かした観光開発に適用している。

**町長** また、アグリパークわち周辺の林道にもハイキング・サイクリングが楽しめる施設を設置してはどうか。跡地は工場誘致

## 畑川ダム周辺整備の約束は

**問** 黒瀬地区と交わった周辺整備の約束が守られていないがどうか。

**町長** 災害時の避難場所の設置について、今

## 富田須知川右岸の牛糞処分は

**問** 誰の目からも肥料の散布とは思えず、牛糞の処分のような行為は中止するべきだ。そんな行為を農業委員会や行政が指導するのはもってのほかだ。

**町長** 堆肥の持ち出し目的のようにとらえられても仕方のない面もある。今後は、指導する。

## 緊急医療の対応は

**問** 病院からの遠隔地を中心に緊急の場合の処置について講習会を、独居老人の異常を知らせるベルの設置は。

**町長** 救急車は迷わず目的地に到着できるのか。あれば開催したい。65歳以上の一人暮らしの家庭などにN.T.T回線を利用して緊急発信電話を設置している。消防本部が、住所検索システムにより、救急車を無線誘導する。



アグリパークわちのオートキャンプ場（長瀬地内）

# 一般質問 ここが聞きたい



横山 勲 議員

# 畑川ダム完成後、安心してできる水環境が整うのか

安全側にたって対応が可能 町長

**町長** トワーク化も視野に入れた検討は。

**問** 30年度の目標最大給水量を1万4058トンと見込むが、畑川ダムからの取水量を加えても1万4100トン、余裕はわずか42トン、将来の町の振興発展に安定した水は確保できるのか。

**町長** 計画取水量に比較すると余裕はないがこの数値は最大給水量であり事業者として、安全側にたった予測であり、対応ができるものと考えている。

**問** 和知簡水とのネットワーク化も視野に入れた検討は。

**町長** 今後、ぜい弱な水源については、畑川ダムからの安定した水源の確保に努めていく。

**問** 丹波・瑞穂すべての水道管のネットワーク化を図り、水の相互補完ができる体制の早期完成が求められるが。

**町長** 統合事業計画で結ぶこととしており、施設間の相互融通が可能となる。

## 特別事業会計の会計処理は

**問** 企業の性格の要素が強い特別事業会計には、発生主義に基づき、複式簿記による企業会計を採用すべきではないか。

**町長** 企業の性格を有すると言う要素だけで企業会計を採用することは難しい。本町では、病院事業で採用している。

**問** 瑞穂病院の医師を和知診療所に定期的に派遣をしながら、瑞穂病院会計に収入がないのはなぜか。和知診療所会計にも支出がないが。

**町長** 一般会計からの繰り出し金の中で負担しているものと考えている。今後、費用のあり方について検討していきたい。

**問** 旧瑞穂病院東病棟の借金残額は、合併時点で繰り上げ償還をすべきではなかったのか。

**町長** 補償金が必要になるなど整理はできていなかったが、19年度全残額を繰り上げ償還した。更新がされるなど不要となった町営バス売却金が一般会計の雑収入で計上されている。町民の目線で、町営バス会計で処理すべきではないか。



まっ白に枯れあがった水源地（竹野地内）

**町長** 行政財産を普通財産として売り払い、一般会計で処理することに問題はないと考えている。





西山和樹 議員

# 塩漬け土地、町民一人当たり13万円余り

土地開発公社健全化計画で 町長

**問** 平成2年以降の15年間に事業用地として先行取得した9件の土地の用途が、現在も未定のまま放置されている。



未活用の塩漬け土地（蒲生野地内）

**町長** 今後の処分見込みは、塩漬け土地はそれぞれ事業別にあるがデンマーク公園構想はバブル崩壊後破綻するなど、先行取得した土地が南丹船井土地開発公社の中で、塩漬けとなつている。

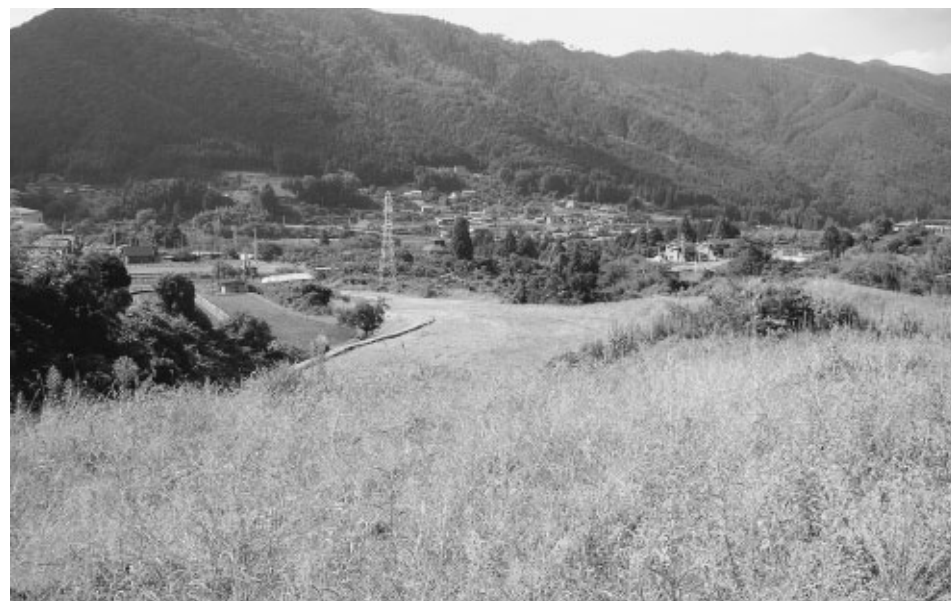
**町長** 放置しているわけではない。事業計画や、財源措置が見出せず、利息が累積し現在に至っている。

**問** 旧丹波町で、16億7900万円・旧瑞穂町で、3億1200万円、旧和知町で、3億2400万円の塩漬け土地は、全町民一人当たりになると、13万6000円と試算がされる。

が協議が整わず現在に至っている。10年もすれば金利も重なり4億〜5億も加算されることとなり、国の制度など、全体的に考えていく必要がある。

措置が講じられることとなったが、買い戻し後10年以内に事業に供することが条件となっている。

の償還利子の2分の1が特別交付税で措置される。本年度中の健全化計画策定に向け、公社の構成団体である南丹市とも検討を行っていきたい。



ヒヨ谷の埋立地（大倉地内）



小田耕治 議員

# 住民のニーズに応えられる診療所運営を

老人保健施設の転換、検討するも課題が 町長



朝早くから診察を待つ患者さん（和知診療所）

**問** 和知診療所は地域住民が安心して暮らし、ていくために大きな役割を果たしており、今後その役割を果たしていかなければならぬ。

**町長** 診療所の病床のあり方や経営改善策が検討されているが、病床の転換や廃止、運営主体などについての考え方はどうか。

**町長** 病棟の運営が大きな課題になっており、当町の財政状況からは、このままの状態では経営していくことには限界がある。

**問** 住民のニーズに配慮されることが何より大切と思うが、

**町長** 老人保健施設とはどのような施設なのか。どのような施設なのか。介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指すための施設で、医師による医学的管理のもとで、看護・介護・リハビリ、食事・入浴などのサービスを提供するものである。

**町長** 上下水道料金については、公共料金等審議会にて検討をいただいている。その答申を受けて、町民への説明と条例の改正などを進めていく。

に係る総費用を見込んで、21年度から23年度までの3年間の保険料を決定する。これにより、「一つの町に一つの保険料」という本来あるべき姿となる。



和知診療所との連携が欠かせない特別養護老人ホーム（長老苑）





坂本美智代 議員

# (仮称) 瑞穂保育所の建設計画は

21年度に実施設計 町長

**問** 新築検討委員会で審議、報告書が提出された。今後の具体的な計画はどうか。

**町長** 公立保育所建設への補助金制度がなく、土地を含め財源確保が厳しい。21年度に実施設計の着手と建設用地の確保に調整中。

**問** 現在、松山保育所の定員数は120人。



おはよー 元気よく通園 (松山保育所)

**町長** 将来を見据えての定員数、施設の規模は。

**町長** 現在は93人、将来を見据えた定員数は100人の予定。

**問** 上豊田保育所、下山分園の施設も古い。順次立て替えの考えは。

**町長** 考えていない。

**問** 介護保険事業計画の見直しについて。

**町長** 第4期事業計画が策定されるが、見直しされる事業計画の内容は。

**町長** 国の指針に沿って計画策定を行う。

**問** 見直しに合わせ、京丹波町の介護保険料も旧3町が統一されるが、保険料は。

**町長** 現時点で具体的な試算額は算出していない。

**問** 事業所に支払われる介護報酬が見直しのたびに削減され経営が厳しい。それに伴ない労働条件の悪化で人材不足である。本町での施設の実態はどうか。

**課長** ヒアリング調査をし、実態を把握したい。

**問** 保険給付費をおさえるためにも、介護予防事業や地域支援事業が重要である。歩いている範囲でのミニデ



家庭で生ゴミの堆肥化

**問** 40カ所の公共施設の耐震化は

**町長** 9月補正予算で松山・明俊・質美の各

**問** 暮らしや営業に大きな影響を与えている。相談窓口設置など支援が必要である。

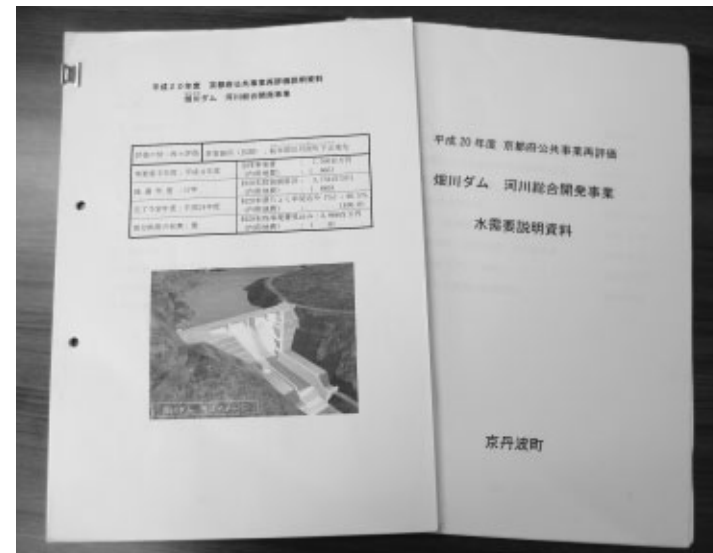
**町長** 町としては考えていない。国・府の制度を活用していただきたい。

**問** 暮らしや営業に大きな影響を与えている。相談窓口設置など支援が必要である。

**町長** 町としては考えていない。国・府の制度を活用していただきたい。

**問** 暮らしや営業に大きな影響を与えている。相談窓口設置など支援が必要である。

**町長** 町としては考えていない。国・府の制度を活用していただきたい。



再評価委員会で提出された資料



山田 均 議員

# 町づくりは、医療・福祉・保健を中心に

情報基盤の整備や水確保も必要 町長

**問** 小泉内閣から引き継がれた構造改革の矛盾が、格差と貧困、不安定雇用を生み出し、地方は大きな痛手を受けて疲弊している。町

政も効率化第一主義を基本に進められ、協働のまちづくりとは大きくかけ離れている。いま必要なのは、暮らしを支え、安心して暮らせるまちづくりです。医療・福祉・保健の中心となる医療施設のあり方、運営の方向は。

**町長** 町は、情報基盤の整備や水確保が必要である。医療施設は経営基盤の安定が何よりも必要と考える。

**問** 医療審議会の答申では、地域医療のあり方について検討されたが、公立の医療機関として病院や診療所の役

割や責任などの位置づけが必要である。どう考えているのか。

**町長** この地域には、近くに多くの医療機関があり恵まれている。町財政に大きな負担をさせることはできない。

**問** 25億、企業にも負担を

**町長** 25億、企業にも負担を

**問** 畑川ダムの再評価は「ぎりぎり」で認められたが、水需要の見通しが甘いこと、開発団地での人口増加人数を6000人から3770人に減る一方で、既存の事業所からの増量要望は、4989トンに大幅に増えている。ダムからの取水量の5000トンと同量が事業所増量分となり、企業のためのダム建設といえる。企業にも町が負担する25億の応分の負担を求めるべき。

**町長** 開発団地での人口減はアンケートの結果から、事業所の増

量要望もあるが、企業のためのダムではない。企業への応分の負担は考えていない。

**問** 公共施設の耐震化は

**町長** 9月補正予算で松山・明俊・質美の各

**問** 暮らしや営業に大きな影響を与えている。相談窓口設置など支援が必要である。

**町長** 町としては考えていない。国・府の制度を活用していただきたい。

小学校。瑞中などは12月補正予算で耐震診断を予定している。

**問** 原油高騰への支援と対策は

**町長** 暮らしや営業に大きな影響を与えている。相談窓口設置など支援が必要である。

**町長** 町としては考えていない。国・府の制度を活用していただきたい。



耐震工事が進む小学校 (下山小学校)





# 管外視察報告

## 福祉厚生常任委員会

**郡上市和良**  
7月22日・23日、町立医療施設の果たす役割について、地域医療センターを中心とした予防医療に取り組みられている岐阜県郡上市の国保和良診療所と和良老人保健施設を訪問。また、少子化が進むなか、合計特殊出生率1.30人を1.40人に向上している養老町へ、今後のまちづくりを資することを目的として視察した。

昭和30年に国保診療所を開設して以来、「予防を主として治療を従とする」スローガンを一貫している。弱者に優しい地域、保健・福祉・医療の一体化を進めるためには、へき地における保健・福祉・医療システムの構築が重要である。15年から25年までの10年間のライフステ



公共サービスを支える町営バス



東 まさ子 議員

## 嘱託・臨時職員の正規雇用化を

国を参考に改善をはかりたい 町長

**問** 安心し、さらに意欲を持って働き続けるため正規雇用へ改善を。  
**町長** 本町の嘱託・臨時職員の占める割合は全体の25%で、20年以

上勤務の職員もいる。最大1年間の更新であり、昇給は行っていない。この問題について、国が給与や任用形態、勤務形態のあり方を検討するとしている。国の検討結果を参考に最も効果的・効果的な業務執行体制に努めたい。

### 高すぎる保険税

**問** 今年に続き、来年度以降も値上げ案が国保運営協議会に示されている。どうするのか。また、国は、福祉医療や収納率の低い自治体に対し補助金カットを行っており、その減額分が保険税に転嫁されている。影響をおさ

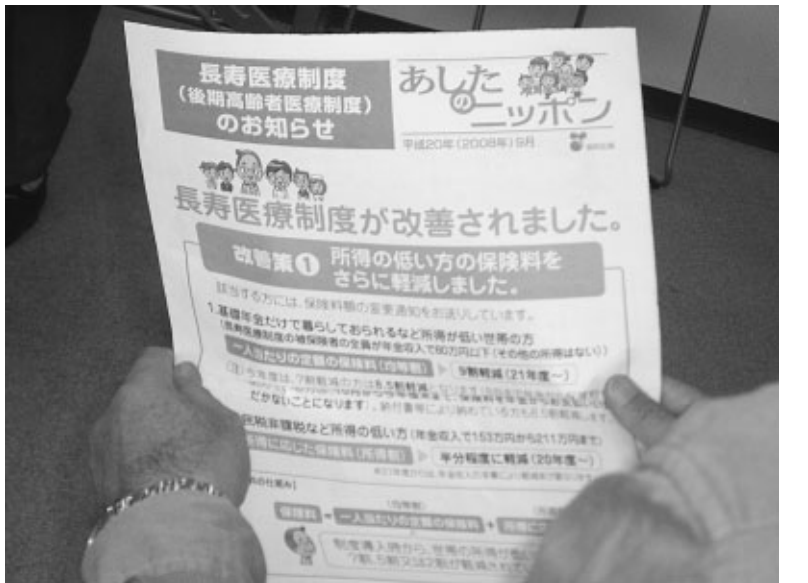
るため、一般会計から補てんしてはどうか。  
**町長** 来年度以降は、今年度の状況を見て検討するための繰り入れは、他の保険に加入の方もあり、公平性を考えるべきでない。

**問** 資格証明書の発行、保険税・一部負担金の減免への見解はどうか。  
**町長** 資格証明書は事情もあると思うので対応は考慮する。しかし、制度を維持するため、公平を守る観点から発行はやむを得ない。現在、後期高齢者医療制度の創設で社会保険の被扶養者から国保に移動した方の保険税の減免のみ適用している。申請があれば規定内容に照らし適正な対応をする。

**住民課長** 子どものいる3世帯含む66世帯に保険証が渡っていない。

### 廃止するしかない悪法

**問** 後期高齢者医療制度は開始直後から、大きな批判を受け、政府は保険料の軽減など見直しを何度も行っている。しかし、高齢者を75歳という年齢で区切り差別するという制度の根幹には手をつけら



配布された政府広報



予防医療の取り組みへの研修(岐阜県)

### 東員町

議会の知らせたい情報を記事として絞り込み、表情豊かな動きのある写真の掲載と余白を生かした紙面づくりで、読みやすく、わかりやすい議会広報をめざされていた。

また、より早く広報を届けることを目標に定例会翌月の第1金曜日には発行されている。議案に対する各議員の採決結果の掲載もされていた。

## 議会 会広報特別委員会

8月6日・7日、愛知県幸田町、三重県東員町の議会広報編集を視察した。

### 幸田町

簡潔でインパクトのある見出しの使用、わかりやすくまとめられた文章、空白スペースを多くした紙面づくり

など読んでもらう工夫がされていた。また、委員会報告のページは閉会中の内容など、幅広い活動報告がされている。

住民参加の「わが町を思う」シリーズは大人から子どもへの目線に移行し取り組みがされている。

今回の議会だより第14号から議案に対する各議員の賛否の結果を掲載しました。また、委員会報告のページも閉会中の委員会の活動内容を掲載することとしました。両町の視察を活かし、より多くの町民の皆さんに親しまれる広報となるよう今後とも努力していきます。

